

令和4年度事業計画

京都府内に存する埋蔵文化財の調査、研究、保存、活用を行い、文化財の保護を図るとともに、文化財保護の普及啓発に努め、地域文化の発展に寄与することを目的に以下の諸事業を実施する。

令和4年度の事業計画は、次のとおりである。ただし、新型コロナウイルスの感染予防等により、事業の一部変更なども想定される。

1 発掘調査受託事業

国・京都府等が実施する公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を受託する。令和4年度は、別紙令和4年度発掘調査受託事業予定一覧のとおり、道路建設関係13件、施設建設関係5件、河川改修関係2件、ほ場整備関係3件の発掘調査及び整理報告を実施する予定であり、合計1,153,589千円の事業となる。

なお、当調査研究センター設立40周年記念事業『40年のあゆみ』刊行を含む普及啓発事業及び出土品の台帳作成事業の一部は、平成29年度より継続して京都府教育委員会からの委託事業として実施しており、これらを加えると受託事業の総額は、1,157,680千円となる。

主な事業として、平成27年度から実施している国営亀岡ほ場整備事業では、曾我部町や本梅町での発掘調査を継続して実施する。また、国道423号新設に伴う亀岡市法貴北古墳群では、数多くの横穴式石室墳の調査を予定している。一方、新名神高速道路建設に伴う城陽市芝山遺跡や井手町井手寺跡の南東隣接地で検出した塔院跡に関する調査報告書を刊行する予定である。

なお、発掘調査成果は、『京都府遺跡調査報告集 第186～189冊』として刊行する予定である。

2 普及啓発事業

令和4年度は、昨年度に実施した当調査研究センター設立40周年記念事業に関連する記念誌、『40年のあゆみ』を刊行する予定である。

また、「埋蔵文化財セミナー」「埋蔵文化財リーフレット」等は、京都府教育委員会からの委託事業として実施する予定である。

一方、従来から実施している全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日2022」関係事業や共同研究等への取り組みは、継続して実施する。

(1) 当調査研究センター設立40周年記念関連事業

○『40年のあゆみ』刊行事業

- ・当調査研究センターの40年間の歩みとその成果を集約する。

(2) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために年3回開催する。

- 第1回は、7月中旬
第2回は、11月中旬
第3回は、令和5年2月中旬

※テーマ、会場、講師などは未定である。

(3) **機関誌**

当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報や当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年2回刊行する(第142号、143号)。

(4) **埋蔵文化財リーフレット(京都府教育委員会委託事業)**

『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査の成果を発信するリーフレットを年2回発行する。(第11号、第12号)

- ・A3版、二つ折り、カラー刷り

(5) **出前講座・体験授業等**

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校と連携して、出前講座や発掘調査体験授業、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」(京都府教育委員会委託事業)を通して積極的な文化財保護の啓発を行う。あわせて、ホームページで啓発事業の活動報告を行う。

(6) **「関西考古学の日2022」関連事業**

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟12法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日2022」に関連して、当調査研究センターにおいても京都の歴史を紹介する講座を開講する予定である。

(7) **「向日市まつり」での考古学体験ブース(京都府教育委員会委託事業)**

京都向日町競輪場において11月中旬に開催される「向日市まつり」において考古学が体験できるブースを運営する。

(8) **共同研究**

当調査研究センターにとって必要な調査研究を行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。

(9) **出土品の台帳作成(京都府教育委員会委託事業)**

今までの調査での出土品を再整理し、公開・活用可能な状態にする。

3 その他

(1) **専門研修**

文化庁主催の講習会や全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会、同協議会近畿ブロック主催の研修会などに参加する。また、独立行政法人奈良文化財研究所による専門研修にも参加し、職員の資質向上に取りくむ。また、公益財団法人公益法人協会主催の会計セミナー等にも参加する。

(2) **一般研修**

人権研修推進委員会が中心となっておこなう職場研修のほか、京都府教育庁行政、人権問題研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加する。

(3) **遺跡検討会**

大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む城陽市芝山遺跡や井手町栢ノ木遺跡について、職員とともに理事及び関係機関の協力を得て、遺構・遺物の検討を行い、刊行予定の報告書に検討内容を反映させる。

(4) **講師派遣**

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣する。また、同志社大学、佛教大学等においても派遣する予定である。